

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 4 区分
 【発行日】平成 27 年 6 月 11 日 (2015.6.11)

【公開番号】特開 2013-245372 (P2013-245372A)
 【公開日】平成 25 年 12 月 9 日 (2013.12.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-066
 【出願番号】特願 2012-119256 (P2012-119256)
 【国際特許分類】

C 2 3 C 16/26 (2006.01)
 C 0 1 B 31/02 (2006.01)
 H 0 1 L 51/50 (2006.01)
 H 0 5 B 33/10 (2006.01)
 C 2 3 C 14/24 (2006.01)

【F I】

C 2 3 C 16/26
 C 0 1 B 31/02 1 0 1 Z
 H 0 5 B 33/14 A
 H 0 5 B 33/10
 C 2 3 C 14/24 A

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 4 月 17 日 (2015.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有機化合物を蒸着用ルツボの内壁表面全体に付着させた後、減圧下で前記蒸着用ルツボを加熱することにより、前記蒸着用ルツボの内壁表面に炭素を含む膜を形成することを特徴とする、蒸着用ルツボの製造方法。

【請求項 2】

有機化合物が分散した溶媒、または前記有機化合物が溶解した溶液で蒸着用ルツボの内壁表面全体を濡らした後、減圧下で前記蒸着用ルツボを加熱することにより、前記蒸着用ルツボの内壁表面に炭素を含む膜を形成することを特徴とする、蒸着用ルツボの製造方法。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、
 前記減圧下として、前記有機化合物が昇華する温度と、前記有機化合物が熱分解する温度とが共存する圧力にすることを特徴とする、蒸着用ルツボの製造方法。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一において、
 前記蒸着用ルツボとして、酸素濃度が 0.1 重量% 以上であるルツボを用いることを特徴とする、蒸着用ルツボの製造方法。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一において、
 前記有機化合物として、分子量が 200 以上 1500 以下であり、芳香族環を有する有機化合物を用いることを特徴とする、蒸着用ルツボの製造方法。